

2015 年度修士論文・卒業論文題目一覧*

社会学研究科社会学専攻修士論文題目

- うつ病者の手記とはいかなるドキュメントであるか
田村 大有
- 地域社会における共同労働としての消防団—陸前高田市消防団の活動を事例にして—
八重樫知宏
- ＜補完代替医療＞を利用するがん患者に活力を与えたのはなにか—S会に参加する患者たちの語りから—
齋藤 公子
- 重度知的障がい児者のきょうだい—きょうだいの抱える心理社会的葛藤の考察—
大井出宏太郎
- 原子力発電に対する態度形成の規定要因に関する社会学的分析
俵 健太郎
- 歴史的環境を残すことの社会的意味—石垣島の井戸を事例として—
柿沼 拓弥
- ＜専業主婦の中日比較＞
チン エンブン
- 在日中国系企業家のトランスナショナルな活動に関する考察—「浙商」出身者の事例を中心に—
何 栩菁
- 中国の女性ジャーニーズファン：ファン・コミュニティの実態
王 緒
- ファッション誌における若年女性の自分らしさと女らしさの変容—「JJ」の分析を通じて—
景 ハンウ
- 希少性難病疾患患者のバイオグラフィカルワーク—「時間」「身体」「自己概念」の連鎖と地域文化資源—
上野 彩
- 若者の社会的孤立の研究
柳川 高弘
- 新自由主義的社会意識の規定要因に関する計量的研究
花村 泰平

生活者概念を用いた市民メディアの考察—メディア活動における担い手の意識変容に着目して—

手島 悠涼

社会学科卒業論文題目

- クリエイターの労働環境とモチベーションについて
中山紗也子
- 現代の若者と、ストリートファッションにおける流行とメディアの相関
深田 幸佑
- ポピュラーカルチャーの翻訳プリズム
鶴 紗也子
- 就職活動から考える韓国と日本の社会性の比較
高 男龍
- 現代における在日ベトナム人の編入についての検証
富岡 輝
- アジア系外国人の都市生活の研究
富岡 輝
- 曖昧化する「若いうち」と「大人」の境界線
松元 玲依
- アートを活用したまちづくり～墨田区向島を事例として～
田岸伸一郎
- 若者の気候変動緩和に関する環境配慮行動の促進要因—計画的行動理論の統計的検討から—
鈴木 豪
- 日本における社会参加～ボランティアからみる東日本大震災以降の変化～
宮前健太郎
- 性風俗産業従事者の日常生活におけるコミュニケーションの考察
小濱 翠
- 大麻使用の受け止め方～北米諸国の事例から～
坂本 知央
- 楽天ゴールデンイーグルスと地元ファンの絆に対する考察
鈴木康太郎

*本題目一覧は、各自の提出届における表記をもとに、紀要編集者が、一覧としての統一性を確保するため、校正を行っております。何卒ご理解のほど、お願いいたします。

外国人が集まる街「港区」～都市開発による国際的な空間の形成～ 松崎 祐至
 労働観の規定要因について～有効なキャリア教育についての探求～ 菊地 優菜
 人材紹介会社の介在による、個人と企業 mismatches 解消の可能性 片桐 麻友
 大学教育と就職活動における学生の行動原理～一日米での比較～ 前田 暁佑
 幸福感の規定要因～自殺のない社会の実現に向けて～ 尾崎 大輔
 男性の育児の今後と性別役割分業の正体～パパたちの語りから～ 宇野 凌二
 空き家を活かした地域活性化～立教大学が豊島区のためにできること～ 窪田 美紗
 アートが団地再生にもたらす可能性～茨城県取手市戸頭団地、「IN MY GARDEN」の事例から～ 軽部 耀太
 古民家の再生・活用方法と地域活性化に関する研究 鶴岡 舞子
 ハローキティをいつまでも愛する大人ファン現象 渡邊 知可
 紅白歌合戦はなぜ未だに国民の四割に観られているのか～戦後日本大衆の視点から～ 諫山 聖矢
 ファッションが持つ可能性の研究～ファッションで人生を変えることができるか～ 佐藤 久之
 現代社会における最新の都市伝説の立場とその影響力～現代妖怪を中心とした考察～ 鈴木麻優子
 グリーン・ツーリズムを通じた持続可能な地域づくりに関する研究～群馬県利根郡片品村における取り組みを事例として～ 内田 詠美
 ベットがつくる人と人とのつながり 向原 有咲
 職業別に見た社会人と飲酒の関係～社会人にとって、お酒とは何か～ 佐藤 優衣
 日本社会はいかに「危険ドラッグ」を認識したか～新聞記事の語りドラッグ認識にもたらす変容～ 大山 稜
 「東京」はつながりの薄い地域なのか～都心と地方郊外を比較した近隣、地域との関わり～ 八東 萌子

障害理解教育の可能性を考える～きょうだいの視点から～ 白井 萌恵
 遊びのスヌメ～通過儀礼としての学生の時間～ 道野 陽
 日本のアルコール依存症の現状と将来 畑沢 開
 都市における持続的な農地のあり方に関する研究～練馬区を事例として～ 塚内 萌
 人間にしかできない仕事とはなにか 芦辺 有梨
 遺伝子組み換え作物は、消費者・生産者にどのようなメリットをもたらすか。 大館 美希
 所得格差意識における規定要因の解明～準拠集団からのアプローチ～ 土生 隼也
 現代日本社会に潜む過剰な欲望～なぜ消費し続けても満足できないのか～ 中川 雅
 日本プロ野球におけるライトなファン層の重要性に関する研究 西村 任司
 高齢化するパラサイト・シングルにみる親子関係～子離れ・親離れに着目して考える～ 守屋 優花
 まちづくり会社による商店街活性化の可能性～地域共生を目指す足立区東和銀座商店街の事例から～ 荻原 樹
 再開発事業の効果と必要性に関する研究～世田谷区を事例にして～ 綱藤 晴花
 日本人の環境配慮行動の形成要因～リスク認知・情報保有量の効果の検証～ 中村 至伸
 安全なコミュニケーションの物足りなさ 岡田 拓海
 アートNPOと行政の協働～「しんゆり・芸術のまちづくり」の事例から～ 鈴木 歩海
 渋谷におけるライブハウスの機能に関する研究 中村 優太
 大都市圏における郊外に関する研究 高橋 拓也
 性別役割分業意識の多元性の規定因について 中野 健太
 ミッキーに恋する大人たち 深山 咲紀
 ファッションがもたらす希望～自分らしく生きる～ 池内 梨紗
 子ども・子育て支援新制度と幼保一元化～認定子ども園の普及に関する考察～ 狭間 凌兵

災害におけるボランティア活動とその受け入れに関する研究—福島県郡山市の幼稚園の事例より—

吉元 彬乃

日本における「自己責任論」の形成と浸透について

米元 卓也

アニメ聖地でつながる人々—埼玉県飯能市「ヤマノススメ」の事例から—

岩坂 優太

今も残る盛り場の魅力—新宿思い出横丁が人々を惹きつけるもの—

松葉 大樹

空港を活かしたまちづくり—国際空港都市を謳う成田市に焦点をあてて—

和泉貴美子

写真は何を遺せるか—アナログとデジタルの間にある思い出—

藤江百合香

食事と会話—食卓での会話には何が求められているか—

吉田 真穂

スポーツを活かしたコミュニティ再生—総合型地域スポーツクラブに着目して—

横田 純

「自分らしさ」という生きづらさ—他者との比較とどう向き合うか—

白井 透子

非経験者による継承活動の可能性—「K市原爆体験伝承者育成プロジェクト」を事例に—

茂野 量太

孤独死問題における地域コミュニティのあり方—千葉県常盤平団地の事例より—

今井 梨絵

広島東洋カープの社会的力—カープ女子の社会的力—

山下 晶子

シングルマザーの多様性

渡邊奈々実

透明人間になりたい—恥ずかしさを制御する—

安井知佳子

新しいサブカルチャーの形、表現物としての二次創作

伊藤 裕貴

自己愛からの脱出—唐桑での出会いから考える—

小島 萌香

現代で食事をするものの意味—食事形態を通して—

東里 航英

希薄化する若者とファッション雑誌の関係—雑誌不況が若者のファッション離れを引き起こすのか—

落合 萌

東急電鉄による沿線郊外開発とレジャーの変容—阪急「交通文化圏」と二子玉川—

阿部 潤

現代の若者の死生観—若年性がんサバイバーの例を通して—

角名亜衣美

感情を操る仕事—銀行員と客室乗務員の事例から見る感情労働—

岸田 麻矢

日常の延長線上の障害者スポーツ—車椅子バスケットボール選手の語りを通して—

熊倉 勇人

アートによるコミュニティ形成と展望—北本団地リビングルームの事例から—

須田 浩章

和食の変容に対する若者の意識分析

鈴木 優里

イクメンが当たり前の社会になるには—男性のジェンダー意識の変化—

白瀧 雄太

日本の起業を今後増加させる方法への考察

平田 将大

金銭感覚と家庭環境

奥山 智可

現代社会における若者世代のコミュニケーションと消費行動の関連

丸山 尚輝

個性の存り処—どうして個人に徹することができないのか—

堀尾美香子

神楽坂のまちづくり—路地からまちづくりを見る—

永野 翔一

ソーシャルゲームの参加要因の解明—社会的不満を通じた分析—

佐藤 信宜

主観的健康観の規定因—主観的所得格差意識に関する分析—

竹内 啓二

官民協働による「食」でのまちづくり—宇都宮餃子の事例から—

村上はなみ

日本における「災害ボランティアに対する批判」

大谷 茉歩

台東区フィルムコミッション活動による都市の変容と地域活性化に関する研究—台東区上野・浅草エリアを事例にして—

加藤 楓

豊かさとは何か—格差論再考—

大橋 啓吾

愛と成熟—与え、与えられる物語—

秦 由樹

部活動が子どもに与える影響

棚橋 泰菜

大学体育会チームスポーツ経験者と就職活動

細木 崇志

異質な他者と関わるマジョリティ—留学生との関係で—

大杉 倫

流行行動と意識に関する調査

鄭 ナレ

「煽り」に、向きあう—僕は立教大学を卒業する—

市村 拓之

「まなざし」の世界でいかに生きるか—まなざしの中
を生きるFtMたちとの出会い—

森金 理沙

埋もれた主人公を探せ—エキストラの赤裸々な声を聞
いて—

松田 莉奈

日比谷焼打ち事件における公園の公共性に関する研究
—政治的主体形成の一要因として—

前田 一步

唱歌と日本人の風景イメージ

有賀綜一郎

“アニメでまちおこし”からみえる新しい観光のあり
方

飯塚 結衣

就職活動から見る働くということ

小寺 健太

知的しょうがいしゃの自立生活

藤井 拓仁

無根拠時代のアイデンティティ—曖昧さと向き合う—

小笠原美奈

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける
レガシーを踏まえた構想の重要性

小河原裕香

男らしさの規範と画一化された生き方—なぜ男性は仕
事にしか生きないのか

内野 沙樹

ノーモア税金泥棒—世間の求める理想公務員像探究—

四方 舞美

都市鉄道における沿線整備の現状—各地域から見たつ
くばエクスプレス—

本郷 雄也

開かれる街、秋葉原の新たな展開—開放と秩序の共
存を目指して—

小西 悠太

アイドルの役割とは何か—その歴史と震災復興支援活
動から—

中山 佳奈

宗教マイノリティ研究—現代日本のイスラーム—

田宮 子帆

ゲームを用いた地域活性化への新たな試みについて

常川 美夏

他者を理解し自己を表現する

江原 宏晃

日本のサラリーマンのマインド

白子 達也

大学生の食に対する意識についての考察

山崎 広大

日本における映画館のカタチ—シネコンの一強化と映
画文化の変遷—

伊東 榛子

死の尊厳は回復できるのか—デス・エデュケーション
の持つ可能性—

阿部 紗弓

コミュニティビジネスの持続可能性—主婦の行うコ
ミュニティビジネス—

阿部 理穂

貧困の連鎖に対する取組について—すべての子どもが
希望を持てる社会へ—

杉原 諒

好きなことを仕事にする人—これからの時代を生き抜
く術とは—

佐々木 唯

東京と鉄道の関係および今後の鉄道の有効な活用につ
いて

朴 宣教

セブンス・ジェネレーションのために—ふくしまオー
ガニックコットンが紡ぐ希望の未来—

大森 淳平

環境保護と贈与とエロス—なぜ私はやさしくなれない
のか—

山本 和彦

都市下層における社会的排除と民間支援活動の変容—
横浜・寿地区の事例から—

山口 鈴香

日本におけるモータースポーツの将来性

熊谷 美紀

人はなぜ嫉妬するのか

中島 美紀

郊外団地のコミュニティと長寿社会のまちづくり—柏
市豊四季台団地の事例から—

武田 極光

開発による地域社会の変化—商店街再開発成功要因の
検討—

永井佑次郎

“人の良い”人間はなぜ損をするのか—思いやり世界
にとられる私—

木下 滉

大久保エスニックタウンにおける多文化共生に関する
研究

染田有貴子

SNSと地域のつながり—地縁的SNS利用の課題と可
能性について—

神武 秀堯

現代の未婚者が抱える配偶者選択における困難と支援
のあり方

石川恵里花

イクメン現象による父親の育児ストレス化

柏瀬 恵

参加と共生の住まい方—コレクティブハウジングの事
例から—

兼子 綾香

「独りになる」ことから結婚を再考する—熟年離婚の
事例を通して—

楠田 深

家族形態の選択理由と少子化問題について—共働き女
性から見る仕事と育児の両立という選択—

石川 岳

芸術家の労働とモチベーション

露木 萌

〈幻想〉「と」生きる—仮構解体のそのさき—

野澤 まゆ
スポーツによる地域づくり～Jクラブとホームタウン
の関係から～

鈴木 賢太
麻雀とビジネスの関係性についての考察 内田 涼太
ニコニコ生放送の世界—生きづらい現実を生きるため
の考察—

兼子 栗
商店街は本当に必要か～商店街活性化の郊果と展望～
庄司 惇一

目標の見えない社会でどのように生の充足が得られる
か

竹之内俊輝
フリーターの類型化とそれぞれの種類の規定要因に関
する比較研究

助川 祐馬
2015年の家族神話～仲よし家族、仲よし親子～
豊田 綾香

日本の少子化と自治体の子育て支援政策—千葉県浦安
市の浦安版ネウボラの取り組みから—

上敷領千裕
つながり過剰症候群世代のネットいじめの原因と対策
—サイバークスケードが加速させるネットいじめ—

田中鴻志郎
オンラインコミュニケーションの現在とこれから～
TwitterとLINE、2大SNSの比較から読み取れるもの
～

小泉 紀樹
生きる力～ヒップホップ精神～

河野 央和
就活にみえる大学生の生きづらさ—より良い就活・採
用活動を目指して—

岡安 滉人
世代間援助の規定因分析

玉利 隼
オリンピックとスポーツナショナリズム～日本人はな
ぜ日本代表を応援するのか～

今泉 裕亮

現代文化学科卒業論文題目

身近な自然と関わる環境教育の重要性—鎌倉市の小学
校・市民活動団体・行政の連携による「環境教室」の
事例から—

山内健太郎
留学生の生活と就職に関して—韓国人留学生を中心
に—

金 ミンジョン
京都市の景観保護の現状と持続可能性

ハラルフードシブから見るとエスニック・ビジネスの
生成

権 加奈
必要とされる書店、必要とされない書店。今後生き残
るための条件について。

青木 洋介
フェアトレードの現状と今後の可能性

宮島 志帆
東京外郭環状道路のPI より良いPIとの比較からの
考察

深井 直樹
協働型まちづくりがもたらす地域社会の変容—参画か
ら協働へ、市民と行政の関係を再考する—

寺澤 亮
日本の有機農業の思想と現状—有機農業の限界と可能
性—

平野百合子
男女平等社会における婚活の存在

柴田 華歩
現代の子育て社会—待機児童問題を通して考える—
田中 郁也

進藤 薫
演出家論

現代におけるアイドルのファン文化に関する研究—日
本と韓国の事例から—

難波 彩夏
居場所としてのコミュニティカフェの可能性に関する
研究

山崎 智美
フェアトレードにおける「顔の見える関係」の役割

多田慎之介
御朱印巡りににおける日本人の宗教意識

佐藤沙央理
持続可能な観光地の条件—宮崎県の観光ブームと綾町
のまちづくりの比較—

佐藤衣里子
横浜中華街の街づくりと在日華僑の変容

鏡 有花
外国人の子どもたちの教育—東京都豊島区を例に—
高橋 圭子

撞舞によるシャッター商店街の再生—本町商店街を貫
く「撞舞」の矢—

鈴木 史子
都市開発に伴うマンション建設は地域活性化に役立つ
のか

大内 望
スマートフォンが必要な現代人の一人行動～「一人焼
肉」のフィールドからみえること～

新城 健太
趣味消費の世界を探る～なぜバイクを選んだのか～
興 拓也

多文化共生に向けた地域の取り組みに関する研究
安井 優希

「笑い」の研究
松永 直人

「在日」映画から見る在日問題—日本人監督、在日コリアン監督の視点から— 二階早恵子
 湯けむりおじさんと僕—常連が作りだす銭湯内の見えない秩序— 北山 和樹
 小笠原諸島のゴミ回収システムの応用可能性についての研究 北村 鴻
 今後の日本のハラルビジネスの展開 平沼 駿
 浅草仲見世の土産物屋はなぜ類似商品が並ぶのか 岡 麻由子
 倒産した企業の経営者が再起するためには 寺田 陽光
 広域避難者支援のあり方と学生ボランティアの可能性 荒川 翔太
 地理的表示保護制度と日本の米 木下 彩
 住宅地におけるアートマネジメントに関する研究—東京都杉並区を事例として— 小林 雅実
 ミュージシャンが作曲するということ—4人のミュージシャンの語りから— 桑田 春喜
 学校生活満足度の規定因の研究—中学生を対象に— 川井 隆行
 千葉市でみる、プロスポーツの普及活動における効果とその重要性 高橋 建
 在日外国人労働者問題—コンビニエンスストアを事例に— 住本 尚紀
 小劇場演劇はなぜ敷居が高いのか 砂田 彩花
 子どもの習い事について—なぜ親は子どもに習い事をさせるのか— 測上 明里
 地域が与えるライフプランへの影響—女性が仕事と育児の両立を可能とするには— 若林 真希
 現代社会における人間関係の希薄化 青田 秀俊
 地域住民を繋ぐ地場産学校給食 生山 栞
 新大久保におけるエスニック・ビジネスと生活における多文化共生 メイ恭保ウィルフリードゥ
 日本におけるクラウドファンディングの可能性—音楽活動の新たな展開— 永島 快
 ロックアイドルの誕生 アイドルの役割変化 高山 太志
 多文化共生社会の実現と日本の学校教育の課題—滞日ムスリムの事例から— 羽田野なつみ

新大久保におけるエスニックビジネスの現状—コリアンタウンは衰退しているのか— 鎌田 優
 三井絹子さんの自立生活までの歩み 小原 久美
 新生活運動と地域コミュニティ形成 金井 千晴
 公共施設は地域コミュニティを創造するのか—武蔵野プレイスを事例に— 池田理沙子
 アンリ・カルティエ=ブレッソンのまなざし 宮川 善明
 SNSがもたらした新たな消費文化 今長谷晴子
 東日本大震災と食への影響—福島県の食の復興を考える— 齋藤 由記
 映像作品によるまちづくり—映画・ドラマ・アニメによる地域活性化— 村田あすか
 食のコミュニケーションを考える 阿部 未佳
 鎌倉市の人口回復要因と自治体の在り方 高橋 雅人
 若者のキャラ化とスクールカースト 角川 裕美
 食通とグルメ消費 石井 大介
 現代日本のナショナリズム—ネット右翼と排外主義— 篠山 翔太
 ふるさと納税による地域活性化—様々な事例から見る効果と課題— 清野優理子
 景観資源によるボトムアップ型まちづくりの可能性—埼玉県中山道まちづくりの事例から— 林 聖悟
 横浜中華街発展の経緯・展望 弘末 翔一
 オタクの過去と未来—オタクは本当にスティグマから脱出したのか— 西園 真未
 野宿者とその支援者との間における相互作用と可能性 村田 優里
 女性オタクの社会構造から見る熱狂 平野 愛
 女性喫煙者を取り囲む環境の見直し 渡邊 安奈
 ダンスと現代社会 猿田かほる
 十条銀座商店街の行方—再開発による十条まちづくりへの影響— 小島早百合
 エスニック・ビジネスとコミュニティにおける多文化共生—池袋北口周辺を事例に— 星野 友太
 東京小盛り場 福田 翔太
 池袋チャイナタウンと周辺コミュニティ 安田 拡
 幼少時の自然体験が及ぼす自己肯定感への影響 豊方 里英

高校野球らしさとは何か—規制とパフォーマンス—
池添 祐介

小平市都道 328 号線から考える住民投票のあり方
柳澤 麻衣

現代におけるDIY消費
竹内 萌

日本における農業の企業化について
高橋 宏佳

現代社会におけるライフスタイルとしての「ギャル」
の研究
大島すみれ

非行と家族
富岡 容弘

子どもと大人の消費はなぜボーダレス化したか
市原美の里

人は食の安心をどのように得ているか—洋服選びよりも大事な毎日の食事選び—
近藤あずみ

日本のハラルフード産業の社会学的研究
石神 樹

ダイアナ妃と英国人気質
山本美祈子

日本とフランスの食文化比較 日本食文化の今後の展望
高田 冴子

地方をめぐる議論と数値化できない「幸福」—熊本県球磨村でのフィールドワークを通して—
和田香南子

高齢化社会と老老介護
清水 穂高

新しい価値として消費される社会貢献の現状と可能性
窪山 賢幸

アイドルファンの組織論—「中身」のないものに熱狂する女性たち—
新井 好

新大久保エスニックタウンにおける多文化共生社会—移住という観点から—
江口 麗

格差社会と結婚難
福住圭太郎

結びつけるまつり：まつりによるコミュニティ形成の研究—雑司ヶ谷鬼子母神 御会式を例に—
山下 裕加

「実感」する体験活動の重要性—「グリーン&クリーンリゾート」立科町女神湖をモデルに—
北 裕弥

ディズニー・プリンセスに見る女性像の変遷に関する研究
西澤 絵梨

“おしゃれ” に変わるエシカル・ファッション
松方 茉紗

ホームレスの対外コミュニケーションに関する分析—池袋の事例から—
平野 多希

静岡市中心市街地活性化の実情—商店街の行く先、街の行く先—
川端早也香

装うということ—「おしゃれ」とは何か—
中村 豪

現代日本の飲酒文化—その社会的機能—
永野 貴子

池袋と演劇文化に関する研究—演劇を活かした地域振興—
本岡 千明

101年を歩む宝塚歌劇団の魅力
菅野 祥宇

多世代居住の可能性
後藤 友希

富士山の肩書きの変化 「信仰の対象」への目線とは
内藤 朱里

現代普通科高校に求められる教育—職業教育の必要性—
藤本 拳斗

21世紀の女性たちは何によって自らのファッションを決めるのか
戸塚 彩乃

カリスマのいる組織—語らぬ指導者と参加者の自発的組織活動の関係—
久世菜々子

アニメ聖地によるまちづくりに関する研究—聖蹟桜ヶ丘を事例として—
有隅 音緒

ライフストーリーから読み解く、武蔵小山商店街が長年愛され続ける要因
仁禮 香織

テレビゲームと人々のコミュニケーション
倉方美帆子

環境活動に最適なコミュニティ—都市の集合住宅におけるソーシャル・キャピタル—
堤 麻子

現代の擬人化キャラクターとそれを取り巻く現場
上村 咲

持続可能な地域コミュニティにおける商店街の役割—茅ヶ崎の事例から—
青木真奈美

真実を伝承する—語り部の新潟水俣病とのあゆみ—
藤川 輝穂

「装う」子供たち—ローティーン・ファッションと子供を取り巻く環境—
米澤 郁

水族館の存在意義を問いなおす—水族館の特性から見える楽しい学びの可能性—
須藤 清之助

方言の価値はどのように変化してきたか—現代と高度経済期の若者意識の比較—
宮川 実久

地域ブランド戦略と「サッカーの街・浦和」—浦和レッズはブランドになり得るか—
大山 圭太

パートナーシップに依る富士山再生の方法～世界文化遺産登録を受けて～ 岩崎美紗子
 小規模農家の有機栽培推進のための新しい有機認証の普及課題と展望 山田 月乃
 過疎地域の活性化において若者が果たす役割—多様な関わり方がもたらす可能性— 末継由梨奈
 現代の若者に向けた高齢期における「生きがい」のあり方についての研究 矢嶋 元喜
 「食の影響力」～現代の共食とその影響～ 棚橋 真理
 クラブ化する日本 池田 優
 外国人技能実習制度の問題と今後の展望 相田 真帆
 産業遺産が果たす役割とその保存の重要性 金子奈瑠美
 クリエイター奨励プログラム登場による動画コンテンツの変化と展望 泊 晋
 日本の用いのある現在とこれから 有田 知紘
 消費社会における幸福論—多様化する物語と彷徨う人々— 平山 光良
 食こそ“いのち”～子どもが家庭以外で必ず口にする「学校給食」の重要性～ 花澤 杏奈
 鎮守の森をいかす～環境教育の可能性～ 前 詩織
 相席居酒屋を求める人々—リスク避けながら出会いたい— 正岡 愛梨
 性別からの解放と束縛 女子サッカー界のメンズ 西川凛々子
 地産地消と食育活動がもたらす生活の質への影響—神奈川県平塚市の事例— 古川 詩織
 住民運動のこれまでとそこから学ぶべきこと—静岡県石油コンビナート闘争から50年経った今と私達— 野秋 咲妃
 横浜中華街の変遷と今後 矢野めぐみ
 在日コリアンにとっての国籍 河野 誠二
 現代における食卓と寿命の関係 岩下 千隼
 これからの日本のバス交通のあり方—コミュニティバスより得られる示唆から考える— 星山 真輝
 アートによるまちづくり～創造都市横浜・黄金町地区を事例として～ 小尾 苑子

メディア社会学科卒業論文題目

キャラ化によるコミュニケーションスタイルの変容 吉田 隼人
 沖縄のメディア報道分析—基地問題をめぐる沖縄地方紙の表象と世論— 川谷恵理香
 国会前に集まる若者たち—SEALDsってなんだ?— 宮田 華江
 現代日本における中国イメージ 播島 未佳
 迷走する英語教育～英語学習の低年齢化の影響～ 小澤 正弘
 SNS時代における承認と空気～変容する若者のコミュニケーション～ 伊藤 力
 日本における排外主義の土壌—「右派論壇」「歴史修正主義」「ネット右翼」「在特会」の系譜— 小川 祥
 メディアとの関わりから見た日本人と英語—構築主義による英語力の社会問題化— 松嶋 洋樹
 都市における子どもの遊びについて—現代の遊び環境を考察して— 古城 真二
 日本でフェアトレードを普及させるために～コーヒーから考える～ 渡邊 瑠緯
 マサラ上映における観客の映画音楽への関わり方—歌って踊るインド映画— 鈴木 健太
 同性愛者の〈生〉とライフストーリー—SNS時代を生きるゲイの語りを事例にして— 加藤 優貴
 テレビメディアが生成する「スタンダード・ミュージック」の研究 小宮 峻広
 外国人イメージ—マス・メディアが作り上げた僕が嫌いな中国人— 安藤 涼平
 テレビとSNSの並行利用におけるシナジー効果～SNS利用とテレビドラマ視聴の相互作用に関して～ 川崎 琢史
 少女マンガ表現論—1970年代少女マンガ黄金期と現在の比較— 秋本 真由
 ユニクロのメディア戦略 栗田 美咲
 公共財としての「書物」～公共図書館における電子書籍サービスの普及を進めるには～ 小寫真由香

漫才における非言語行動の役割～視線の向きを中心とした一考察～ 上町 修大

姓の選択における研究～当事者たちの視点から考える～ 平田 貴美

珍奇ネームの発祥を招いた社会的要因の考察—1980年代の消費文化論を中心に— 川辺 玲央

ファッションにおける流行現象とファッション雑誌の関係—赤文字系雑誌『Ray』から流行を読み解く— 目見田早弥子

ディズニー・プリンセス映画にみる女性観の変遷—映画作品の伝統と再創造— 五味田早織

「ソフト・パワー」とナショナリズム 石原 実奈

東日本大震災から見る日本の新聞の存在意義～新聞記事分析による「差異性」から見えてくるもの～ 服部 莉緒

小さいのち達のSOS～犬・猫が幸せに暮らせる国を目指して～ 山田奈々実

風管法と街「遊び」の変容と規制される社会— 高橋 大樹

ヒーロー映画からみる洋画離れの本質 立花江里香

フードロス大国からの脱出を目指して—もったいない意識への回帰— 細川百合子

国民学校でなぜ歌詞は改正されたのか～音楽が私たちに与える影響力～ 中西 絢子

48グループの地域別プロモーション展開 伊藤彩有里

金八先生は何故受け入れられなくなったのか 弘光 美紀

共に学ぶ学校づくりと障害理解教育 新井 麻友

Twitterから見る、スポーツ観戦時の人々の楽しみ方 市原 杏花

なでしこジャパンのメディア報道にみる人種とジェンダー表象—日本人・女性というステレオタイプ— 宮崎 敦史

ダイエット産業の巨大化と弊害 西尾 美槻

キャスターの役割からみるニュース番組の変容～安部法案の報道は「知る権利」を果たしていたか～ 寶代理紗子

日本のICT教育の実態～新聞報道は教育をどう語るのか～ 西森彩香音

インターネット領域におけるつながりと「救われる」若者 大畑 渡瑠

電子産業の不振はどう語られたか：ソニーを事例として 高橋 遼平

マイナースポーツによる地域活性化の施策について～ハンドボールの普及を事例に～ 仲田 圭吾

お笑いの形態の変化とテレビ離れ 板橋 健次

大学生のSNS利用における人間関係の構築 横田 ゆい

映画館の行方 濱谷みなみ

教室の中の王国—メディア表象からみるスクールカースト— 押阪 彩音

1960年代モッズに見る若者文化とその影響—We are Mods!— 栗林 佑丞

絵本に描かれる老人像の変化 丸山由布子

「女子」が意味するもの 古森 悠希

ビール戦争から見るクラフトビールの人気～ビール業界に明るい未来はあるのか～ 田中 智也

Twitterの「中の人」から考える企業広報 秋山 望

ドラマ化・映画化における社会的影響—「スクール☆ウォーズ」の事例— 三木 敬介

日本の中学生の人間関係形成とネットコミュニケーション 長谷 侑樹

少女漫画から読み解く女性の社会進出の変遷—投影される憧れ— 戸張 佑麻

若者にとっての「地元」の意味変容 尾形 祐佳

日本の寄付文化におけるマスメディアの役割 鈴木 達也

広告に見る、日本人の「日本」への意識—「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と「クール・ジャパン」— 伊藤 愛

商業施設が求められる変化とは～ららぽーとTOKYO-BAYを例に～ 磯部 楓

畏怖の対象から愛玩されるキャラクターへ～日本人の妖怪観の変遷～ 木下 未希

自撮り文化論—なぜ自分撮りは流行したのか— 湯浅 彩

準拠集団の期待に悩む学生たち～キャラ化による恩恵と弊害を考える～ 海老根葵一

腐女子を取り巻く社会構造の変化—乙女ロードを中心として— 原 周平
 スポーツ界のセクシュアル・ハラスメントへの女性競技者側からの対応策—日本のバレーボールを事例として— 山崎 恵
 日本社会におけるLGBTの認識と受容—報道から見たLGBT— 近藤 瑞記
 日本人とマスクの関係性—医療用マスクから「だて」マスクへ— 友保 仁実
 テレビドラマと個人史 谷本 千樺
 日本テレビドラマの海外展開における課題とその展望 竹田 優希
 エクスパンデットユニバースから見る音楽マーケティング論 阿部 賢人
 ディズニー映画の予告編に見る物語の形態学—本編と予告編の物語構造分析、日米予告編のメゾ・ミクロ分析、予告編の物語構造分析— 貝原 圭紀
 「ゆとり教育」の個性化神話 清水 崇行
 ゲーム業界から見る日本の消費文化—スマートフォンゲームの流行とこれから— 望月 洋平
 曖昧なメディア・リテラシー 大平 航
 沖縄が舞台のテレビドラマが人々に与える沖縄イメージ—「Dr. コトー診療所」の分析から— 桑原 圭佑
 留学時における異文化適応 浅野 知也
 ニュース項目の重複と分化—メディア特性に対するニュース選択— 宮川 早穂
 選手からタレントへ—アイドル化する女子アスリート— 宮本 航希
 サッカーのサポーターの意識—応援動機と規範— 柳澤 公平
 自らレッテルを貼る若者たち—「ゆとり」「さとり」世代論の言説分析— 小谷野真澄
 若者の恋愛事情とコミュニケーション 新井 佳純
 日本人の自分探しとボランティア 村石美紅子
 オリーブの時代とその影響—80年代以降における40代女性像の変化— 松永 琴乃
 ワーク・ライフ・バランスの見直し—若者・女性の理想の実現に向けて— 後藤 沙貴
 メディア比較から見る若者の内向き化 田中 利樹

犬・猫の殺処分ゼロを目指して—人の意識を変えるPR— 田中 輝一
 クールジャパン政策におけるサブカルチャー産業の可能性 桑山 大夢
 日本におけるメディア・リテラシー教育の実態 池田 佳穂
 将来の大震災に備える—情報の空白による被害を減らすには— 小林 愛美
 中日黒の研究—高まる地域ブランド力について— 渋谷 薫
 日本のヒップホップ：文化グローバリゼーションの〈現場〉 小島 大樹
 若者の高級ブランド品離れ—女性ファッション誌JJから見るその理由と経過— 小林 南友
 池袋における高齢化問題—地域社会における共助の可能性— 松永悠梨恵
 現代アメリカ映画におけるイスラムのイメージの変化—9.11前後の映画の分析から— 大澤 舜
 チャリンコに乗り続ける私たち—日本の自転車文化の特異性— 渡邊 翼
 ゲレンデへの招待—10年後の「スキー立国」を目指して— 平濱 健資
 スポーツ選手の国籍に関する研究 中島 健吾
 大学オーケストラに立ちはだかる高い壁—資金面での困難— 齊藤 亜季
 日本人男性の自意識の変容の特異性 須賀 照真
 自衛隊広報官の葛藤—ホンモノの姿を伝えるために— 駒田 萌華
 女性アイドルのファン層の変化 「女オタク」が発生した理由 尾崎 瑛子
 芸術と自己表現—コミュニケーションにおいて芸術が果たすもの— 庄司 長高
 インターネットと暴力—他のメディアと比較して— 千々岩聖都
 構築され続けるセクシュアルハラスメント—クレイムの変化から— 宮内 麻希
 フランスの風刺文化と日本—日本人は風刺といかに向き合うべきか— 漆田 薫
 テレビとスマートフォンの連動 槇島 太一

大学生の痩せ志向文化の動向と危険性 長沼 悠佳
 「腐女子」増加の社会背景とコミュニティの形成 成瀬 桃子
 番組書き起こしサイトが引き起こす問題～炎上手前の
 小さな誤解～ 関口 陽太
 景観と「まちらしさ」の関連性—東京の「下町」に着
 目して— 石山 圭祐
 女子たちの大相撲～力士のメディア表象と女性ファン
 の変化～ 栗原 由衣
 少年非行とマス・メディア～ジャーナリズム事務所の管理
 責任～ 佐藤 みゆ
 韓流ファンのアイデンティティ— 永澤 悠香
 外国映画のマーケティングに見る日本文化 土屋 恵
 道州制と地方創生～中京広域都市圏から考える地域活
 性化～ 河村 陽介
 朝ドラにみる日本の女性像—「あまちゃん」登場人物
 をもとに— 横田 希穂
 高校野球に残る体罰・暴力の要因～サッカーとの比較
 から～ 岡田 匡史
 大学生の情報行動におけるフィルターバブル現象並び
 にセレンディピティ体験 石田 雅人
 組織不祥事におけるリスク対応—立教大学のリスク・
 マネジメントに向けて— 内藤 幹大
 パチンコ産業のマイナスイメージ形成について 中川 海
 変容する家族と高齢者の孤立～「互助」と共生～ 板谷 悠汰
 無意識の駆け引き—コミュニケーションの複雑化と若
 者の自己認識の関係— 小野 裕貴
 都電荒川線が及ぼす地域への影響 増子 美希
 家系図ブームとその社会背景 塚本 眞央
 犯罪者へのまなごしの変化 樋上晋太郎
 各世代層からみる無縁社会の今 田中 優香
 テレビ番組から見る日本人像 「世界の日本人妻は見た！」の表象分析を通して 草地 夢花
 若者のネット依存に関する考察—スマホの使用におけ
 る交友関係を中心に— 谷本 彩夏

ハリウッド映画から見るマイノリティ表象 長島 潤也
 商業化するメディアスポーツの現状～メディアの責
 任・視聴者市民の責任～ 飯島 浩平
 健康食品・サプリメント類におけるCMのメッセージ
 表象研究 福島 航
 なぜ「バクッター」が後を絶たないのか 中野 大地
 現代における神前結婚式 榎田 美咲
 中国人留学生の就職活動における意識について 佐原 幸
 「安保報道」からみるメディアフレーム分析 雨宮 拓夢
 地域活性化における地域メディアの役割—地域SNS
 「松戸ラブマツ」を事例に— 佐瀬友里香
 テレビの北朝鮮～テレビとどう向き合うのか～ 今井 利哉
 「女子力」の修辞学～現代社会における「女らしさ」
 とは～ 黒岩 美結
 メディアの中の男と女—コマーシャルに見るジェン
 ダーステレオタイプ— 中井 杏奈
 スポーツとジェンダー～女子マネージャーから見る
 ジェンダー意識～ 石田 和也
 28歳までに私は結婚します—人生の中で結婚がもた
 らず意味とは— 内田 智香
 女性サッカーファンとメディア 横尾 瞳
 多角的にみるライトノベル～ライトノベルと一般文芸
 の分離と越境 武藤美沙希
 クールジャパン言説と文化アイデンティティ 須山 瑛美
 男性用化粧品品の増加から探る日本人の価値観の変化 浅見 祥子
 障害者スポーツの発展を通じて共生社会を考える～車
 いすテニスを例に～ 松浦 勇希
 バラエティ番組からみる外国イメージの形成 坂野奈々美
 思考力低下言説の妥当性検証～新入社員調査からみる
 若者の思考力～ 遠山紗恵子
 東大生は幸せか—「社会への還元者」への道— 梶田 恭平

年収100万円の実態～専業声優は実現可能か～

大倉優美子

若者女性の瘦身願望とマス・メディアー若者のダイ
エット事情とメディアリテラシーー 太田 南
ロックの歴史の変遷と社会に与える影響 松川 普一
専業主婦への憧れー大学生のホンネの正体ー

木村 知恵

安倍政権のメディア戦略とジャーナリズムー首相と報
道関係者との「会食」ー 小山 哲史
若者の情報接触と意見形成ー平和安全法制を事例にー

柳田 裕史

YouTubeがヴィジュアル系バンドのライブに与えた
影響～振付動画の効果について～ 中村麻優子
ガレージロックリバイバル論 藤本 将史